



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

Okinawa Association of Social Workers in Health Services

MSW ニュース 1

発行：沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 広報部
編集：宮城 郁美（北部地区医師会病院）

今年度より郵送は終了しています

目次

- ・自主勉強会報告…………… 2 p
- ・ゆたしく うにげ～さびら…………… 2～3 p
- ・トピックス（タイムス「コラム」、新報「福祉の窓」）…………… 3～4 p
- ・各部会からのお知らせ…………… 4～5 p

自主勉強会報告

自主勉強会報告 めだかの学校

北中城若松病院 医療福祉相談課 崎原 盛司

9月22日、めだかの学校自主勉強会として、富樫先生の『事例研究について学ぶ～実践を理論的に振り返ろう！』第4回に参加しました。

講義のなかで私が普段からおこなっている「インテーク」が既に使われておらず「エンゲージメント」が適切であることを知りました。そしてエンゲージメントで大切なのがクライアントの必要に応じて環境(ミクロ、メゾ、マクロ)の応答性(ニーズに応える)をアセスメントすることだと学びました。またエンゲージメントで得た情報から生活課題を明確化させて、具体的に行動変容アプローチを用いてクライアントに「わかりやすく」説明、行動化を促すとともに関係機関と共有して対処能力を高める技法を学びました。

連続講義を通して私自身の支援が専門用語を用いて言語化できていないことを実感しました。講義資料を基に自身のケースに当てはめ、振り返りをおこない実践を重ねクライアントの対処能力を高め生活課題の解決または軽減ができるように努めていきたいと思います。

ゆたしく うにげ～さびら

公益社団法人 北部地区医師会病院 連携課 宮城郁美



1.病院紹介

北部地区医師会病院は、離島を含む 12 市町村で構成された北部エリアで、名護市にある中規模の急性期病院です。平成 3 年に公益社団法人 北部地区医師会によって設立され、北部の中核病院として「地域医療への貢献」を理念のもと、急性期病院の役割を果たしつつ地域の医療機関と連携を行いながら後方病院としての役割も担っています。

開設年月日：平成 3 年 2 月 19 日

病床数 計 236 床（一般病床）

2.連携課部門の紹介

当院の連携課のスタッフは、オペレーター3名・前方連携2名(内、看護師1名)・後方連携9名(MSW6名・入退院支援看護師3名)・緩和ケア認定看護師2名の 16 名体制になります。オペレーター・前方連携にて他医療機関との外来予約・検査予約等を行い、後方支援としてMSW・入退院支援看護師が連携しながら患者支援・退院調整を行っています。

その他、患者相談窓口・がん相談支援センター等も連携課にて携わっています。

当院は病棟担当制で MSW6 名の年代は幅広い事もあり、和やかに、時には笑いもありつつ、お互いに切磋琢磨しながら日々の業務に取り組んでいます。北部の地域性(高齢者世帯・独居生活が多く、ご家族が遠方在住等)もあり、急性期病院からの退院となると、患者さま・ご家族も不安になる事が多いですが、患者さま主体の意思決定を心がけ、感染状況を確認しながら面会等の機会やリモートの活用を行い、院内外の多職種との連携を図り退院支援を行っています。

トピックス

(医療費負担増、なぜ?)

琉球新報 福祉の窓 2022 年 10 月 8 日掲載
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 田場 正志

質問

最近役所から新しい保険証が届きました。今まで医療費 1 割負担でしたが、特に収入が増えたわけでもないのに医療費 2 割負担になっていました。毎月定期通院があり、負担増はつらいです。なぜ 2 割負担になったのですか。

答え

2022 年 10 月 1 日より、75 歳以上で一定以上の所得がある方は、医療費の窓口負担が変更

になります。「課税所得が 28 万円以上かつ『年金収入＋その他の合計所得金額』が単身世帯の場合 200 万円以上、複数世帯の場合合計 320 万円以上の方」が窓口 2 割負担になります。9 月中には高齢者医療広域連合または市町村から、窓口負担割合見直し後の保険証が届いていると思います。

今回の変更で、今までより負担額が増加する方が受診控えてしまわないように、25 年 9 月末まで配慮措置が設けられています。1 ヶ月の負担増加額を最大 3,000 円までに抑えます(入院の医療費は対象外)。いったん窓口でのお支払いはありますが、後日払い戻しがあります。

22 年度以降、団塊の世代が後期高齢者となり始めることで、後期高齢者の医療費の増大が見込まれています。後期高齢者の医療費のうち、窓口負担を除いた約 4 割は、現役世代が負担する構造になっており、今後も負担が増えていくことが見込まれています。今回の見直しは、現役世代の負担上昇を抑えるために、少しでも多くの方に「支える側」として、能力に応じた負担をしていただくことで、国民皆保険を未来につないでいこうというものです。

今回負担額変更やご自分の医療費などの詳細については病院の医療ソーシャルワーカーへご相談下さい。

各部会からのお知らせ

【 研修部 】

研修部たより

■(第 6 回)自主勉強会「事例研究について学ぶ ～実践を理論的に見る～」

対象	会員のみ
日時	2022年12月〇日19時～（日程調整中）
参加方法	事前申込.
参加費	会員無料
備考	協会ホームページ「研修案内」に記載予定
問い合わせ	沖国大 樋口・大浜第一病院 嘉手納(098-866-5171)

■自主勉強会・めだかのホームルーム

対象	対象者:おおむね実務経験4年以上
日時	2022年11月8日(火)18:30～ ZOOM

参加方法	事前に下記までお問い合わせください
内容	事例検討
備考	
問い合わせ	沖縄赤十字病院 兼濱 098-853-3134(代表)

■ 自主勉強会・めだかの学校

対象	対象者:おおむね実務経験3年以下
日時	12月〇日(木)19時～
参加方法	事前に下記までお問合せください
内容	自主勉強会 「事例研究について学ぶ ～実践を理論的に見る～」
備考	2022年度めだかの学校は事例研究にふりかえ
問い合わせ	ハートライフ病院/川満綾乃 博愛病院/永井

✿その他

九州医療ソーシャルワーカー協会教育研修部公式 BLOG

「医療ソーシャルワークサプリー from 九州医療ソーシャルワーカー協議会」更新中！

こちらの QR コードからご覧になることができます



【 広報部 】

新企画検討中 アイデアも随時募集中!!

巻末の「協会公式 LINE 加入のご案内」をご覧ください。

【 社会活動部 】

掲載なし

理事会議事録

10月理事会議事録

2022年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会

2022年10月17日(月)18:30~20:00

場所: 沖縄県総合福祉センター

リモート開催(Zoom)

※リモート開催の場合は18:30~

【出席者】新垣哲治会長(司会)、當銘由香副会長、安慶名真樹副会長、秦克之副会長、伊禮智則事務局長、樋口美智子、香村真範、長原野、池間俊、大城将平(書記)、宮城郁美(連絡)

オブザーバー: 宮城幸之祐、高澤信哉、玉那覇夏汀

【委任者】大嶺洋、高江洲アヤ子、奥平藤也、

<各部報告・協議事項>

□研修部活動報告 以下の報告を受けました。

(1) 自主活動支援

①新設自主勉強会『事例研究について学ぶ実践を理論的に振り返ろう!』

第4回 9月22日(木)19時~ ZOOM開催 参加22名

次回 第5回 10月27日(木)19時~20時30分 事例発表 ZOOM開催予定

問い合わせ先: 沖縄国際大学/樋口、大浜第一病院/嘉手納

②めだかのホームルーム 担当: 兼濱

・第3回 9月13日 18時30分~開催済 参加者5名

・次回 11月8日(火)18時30分~ZOOM開催予定

③めだかの学校 担当: 謝敷・安慶名

・今年度は事例研究会(5回シリーズ)にふりかえ

・次回開催は10月27日(木)・年度末に事例提出を検討

(2) 定例勉強会 11月 担当: 池間

(案)「ソーシャルワーカーのワークライフバランスとストレスケアについて」

・開催時期: 11月後半 時間: (仮)18時受付、18時30分開始(講師と相談)

・オンライン開催: ・対象者 現任の管理者、5年以上、次期管理職候補

テーマ案 「ストレスケア」・「アンガーマネジメント」・「バーンアウト」・「管理業務」etc

→研修部内でテーマを決めて、講師依頼を行います。

□受講者アンケートに対して研修部からコメントを載せる提案があったので、研修部内にて検討中

□九州教育研修部 10/12(水)ZOOM ミーティング参加報告(香村)

①九州各県主催の研修を、各県会員へ案内の継続をお願いしたい。

②全国(北海道版)ラダーと九州ラダーのすり合わせと今後の活用について。

北海道版=個人キャリアラダー。九州ラダー=研修企画・運営の特徴がある。両ラダーのすり合わせを進め、会員が活用していけるようにします。

③部会の集合開催を検討。各県からの派遣許可と派遣費について意見交換を行いました。

〔広報部〕以下の報告を受けました。

□MSW ニュース9月号編集：北部地区医師会病院 宮城さん

□協会公式 LINE 加入者数：139名(前月比+1名)

□公式ホームページ閲覧数：1,631(前月比-309)

〔社会活動部〕以下の報告を受けました。

□福祉の窓 担当沖国大 原稿締切日:10月22日(土) 掲載日:11月5日(土)

次回は琉大付属病院に依頼予定

原稿締切日:11月19日(土) 掲載日:12月3日(土)

□SW学会・福祉公開セミナー 報告・相談

・配信会場について意見交換を行いました。

・シンポジウムに関して意見交換を行いました。11月中にキーワードや人選について決定していきます。

〔事務局〕以下の報告を受けました。

□入退会報告

入会届：0人

所属先変更：0人

退会届：0人

□10/17年会費引き落としが行われました

□11月以降領収書発行、会費督促、会費口座引き落とし手続き依頼等事務手続き予定しています。

□メンター推薦:那覇市立病院:前濱杏美を推薦しました。

<その他 報告協議事項>

□R4年度地域支援事業など市町村支援アドバイザー事業説明会(9/26)報告

参加者:安慶名真樹副会長

市町村より、受診拒否の市民への促しについて、助言いただきたいときは地域ケア会議などへの参加可能か、質問があった。個別ケースの助言に終始せず、受診拒否のケースの関

わり方や関係機関との連携の仕方、受診拒否に至る経緯の見方など、同じようなケースに対応できるよう助言していきたいので活用してほしいと案内しました。

□多職種コンソーシアム実践研修会

助言者:高澤(ハートライフ)

副助言者:大嶺(理事)、大城(理事)、玉那覇(沖縄協同)、謝敷(大浜第二)、川満彩乃(ハートライフ)

事前会議:10月22日(土)15:00~17:00(高澤)

研修会:10月23日(日)10:30~16:30 @沖縄リハビリテーション福祉学院

□沖縄県入退院支援連携デザイン事業

① 小規模離島市町村意見交換会:

当日:11月24日(木)14:30~16:30、ZOOM。

・発信会場:P's スクウェア 浦添市西原 2-4-1

・座長:新屋洋平医師

テーマ:「小規模離島等市町村における入退院支援連携の課題」

1)各市町村の入退院支援の現状・課題について(20分)

・10月17日~要綱・案内文書送付、参加申込締め切り11月18日(金)

③多職種研修→(仮)2月15日(水)19:00~20:30>日程調整し、会場予約準備。

テーマ検討中:身寄り無し高齢者などの地域課題、離島事例

※次回理事会 2022年11月21日(月)18:30~ ※ハイブリッド形式で開催できるか検討

司会:當銘 書記:宮城 連絡:高江洲

議事録署名人 新垣 哲治

☆ 編集後記 ☆

柔らかい風がふき、過ごしやすい季節になってきましたね。感染状況が落ち着いている事もあり、学校行事等が少しずつ開催されていますね。先日、数年ぶりに学校行事に父兄も参加が可能になり、学園祭を見学に行きました。学生たちの青春を楽しむキラキラした笑顔に元気をもらい、何か新しい事にチャレンジ出来ないか模索中です。

MSW 協会 公式 LINE 加入のご案内

協会名を検索して「友だち追加」で完了！



<https://www.msw-o>



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

Okinawa Association of Social Workers in Health Services